R82-

x:panda™

取扱説明書

輸入代理店
テクノグリーン株式会社
〒 530-0015 大阪府大阪市北区中崎西１丁目４番２２号　梅田東ビル
TEL (06)6371-0104　FAX (06)6371-6400

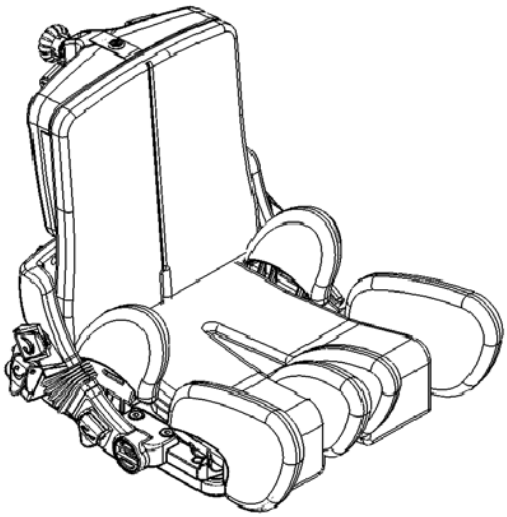
＜はじめに＞

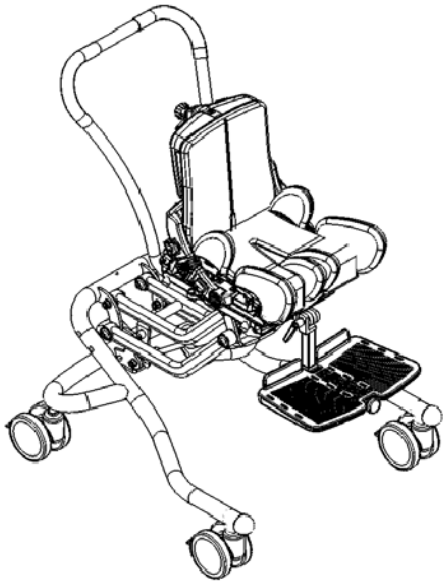
この度は、本製品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。

本製品は快適な座位保持機能を必要とするお子様向けにつくられたシーティングシステムです。多様な調節機能やアクセサリーにより、ご利用頂く方々にとって最高のパートナーとして皆様のご期待に添えるものと確信しております。

ご使用前に本取扱説明書を良くお読み頂き、安全かつ本製品の持つ特徴を良く理解してください。また、お読みになった後は必ず大切に保管し、本製品を末永くご使用頂きますようご活用ください。

＜X:Panda＞





X:Panda
X-Panda は様々な調節が行え、シートは 3 サイズご用意致しております。　シートには 3 段階での幅調節・無段階座奥調節が行えます。

背もたれはダイナミック機構を採用しており、お子様の「反り返り」に対して背もたれが動きますので適正な座位姿勢に戻ってくる事が可能です。
またそれとは別に股関節の角度を変える背もたれリクライニング機構も装備しております。

多種多様な調節・アクセサリーにより個々のお子様のご要望に応じた快適性・サポートをお約束致します。

シートは各フレーム（屋内用・屋外用）に取付ける事ができます。　また座面・フレームのリクライニング（ティルトリクライニング）は、より活動的な姿勢や休息の姿勢をおとり頂けます。

屋内使用　屋内用 High-Low フレーム

屋外使用　屋外用 High-Low フレーム
　　Combi フレーム
　　バギーフレーム

X-Panda は様々な可能性を秘めた製品ですので、ご使用になられる前に本取扱説明書をお読みください。

＜目次＞

＜はじめに＞ 2
＜X:Panda＞ 3
＜目次＞ 4
＜安全性＞ 6
＜保証＞ 6
＜付属工具＞ 6
＜ご使用前に＞ 7
＜背もたれリクライニング＞ 8
＜背もたれ高さ調節＞ 8
＜ヒップ・サポート調節＞ 9
＜レッグ･サポート調節＞ 9
＜ヘッド・サポート＞ 10
＜ショルダー・サポート＞ 10
＜サイド･サポート＞ 11
＜サイド･サポート用クイック・ロック＞ 11
＜開閉式サイド･サポート＞ 12
＜開閉式サイド･サポート用クイック・ロック＞ 12
＜アームレスト＞ 13
＜テーブル＞ 13
＜テーブル（両挿し）＞ 14
＜テーブル用アームレスト＞ 14
＜テーブル用トイバー＞ 14
＜各種ベルト＞ 15
＜フィックスロック調節部品（位置調節）＞ 15
＜シート・ウェッジ＞ 16
＜シートストラップ＞ 16
＜背もたれプレート＞ 17
＜固定式ガススプリング＞ 17
＜屋内用フレーム：　シート取付け・取外し＞ 18
＜屋内用プッシュ･ブレス＞ 18
＜屋外用フレーム：　シート取付け・取外し＞ 19
＜屋外用プッシュ･ブレス＞ 19
＜プレート式フットレスト調節＞ 20
＜サンダル式フットレスト調節＞ 20
＜シート拡張機構―　座幅調節＞ 21
＜シート拡張機構―　座奥調節＞ 22
＜シート拡張機構―　背もたれ交換＞ 23
＜シート・X-Panda 用 High-Low フレーム互換チャート＞ 24
＜シート・Panda Futura 用 High-Low フレーム互換チャート＞ 25
＜シート・Combi フレーム互換チャート＞ 26

＜シート・バギーフレーム互換チャート＞ 27
＜お車での移動（その 1）＞ 28
＜お車での移動（その 2）＞ 29
＜お車での移動（その 3）＞ 29
＜お車での移動（その 4）＞ 30
＜お車での移動（その 5）＞ 31
＜製品識別＞ 32
＜寸法表＞ 33
＜テクニカルデーター＞ 34
＜メンテナンス＞ 35

＜安全性＞

本製品は CE マークを取得しております。　これはヨーロッパにおける必要な安全事項を満たしている事を保証しております

本製品の耐用年数は、日常の基本的なご使用のもとにおいて 5 年です。
今後少しでも長くご愛用頂くために定期的な製品チェックを受けてください。

⚠ 製品の改造又は R82 社純正部品以外をご使用の際は貼付されております CE マークを外してください。

⚠ X-Panda は一人乗りです。　二人以上お乗りにならないでください。

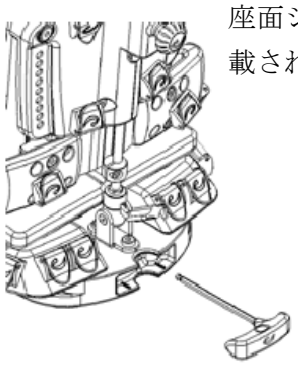
⚠ 本製品をご使用中にはお子様から離れないでください。 調整による永続的な管理を行ってください。 誤ったご使用方法はお子様に危険なお怪我を引き起こす可能性があります。全ての固定及び調節箇所は適正に行い、定期的に製品チェックを受けてください。

⚠ 本取扱説明書に記載されていない調整やアクセサリーの追加は認定業者よってなされなければなりません。　各種ベルトは製品に添付されております説明書に従って取付けてください。

＜保証＞

本製品は、使用している材料又は製造工程上の欠陥に対して、お買い求め頂いた日から向こう 1 年間、フレームの破損においては、5 年間の品質保証がなされております。　この品質保証は、本製品の構成部品の修理又は交換に限定された物で、その欠陥に付随して起こる又は結果として起こる損害を担保とするものではありません。そして、これは最初の原購入者に限定されます。
万一、この保証に基づいて構成部品に欠陥が発見された時は、弊社の選択によりその部品を修理するか交換するかを決定し、無償にてこれを行います。
この保証は R82 社製の純正部品が使用されている場合のみ有効で、まだ認定を受けていない業者による修理等で起きた損害や怪我は保証の対象外です。

＜付属工具＞

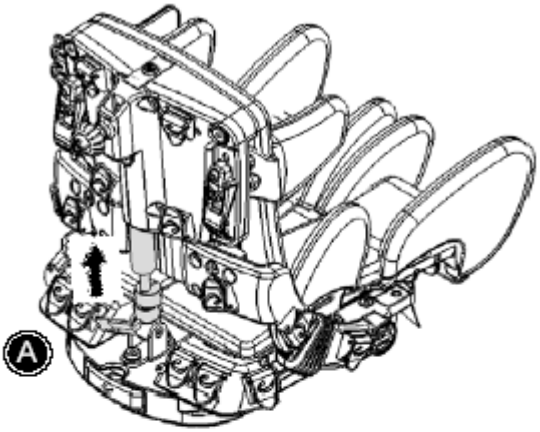


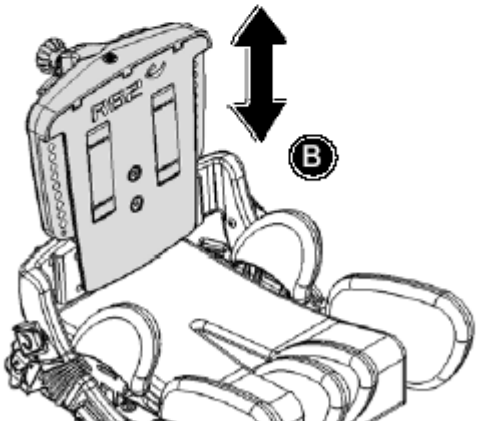
座面シート後方に 5 mm レンチがセットされております。本取扱説明書に記載されている調整を行う際ご使用ください。

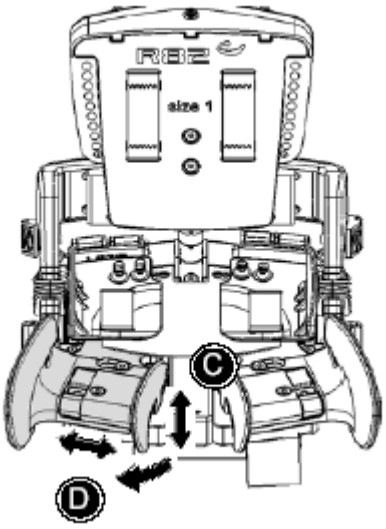
＜ご使用前に＞
ご使用前に下記の機能が正常に作動するかご確認ください。

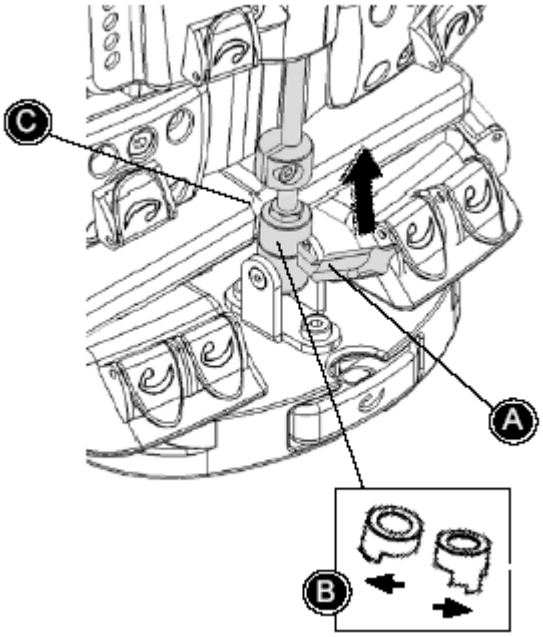
（A）　背もたれリクライニング
（B）　背もたれ高さ調節
（C）　座奥調節
（D）　外転調節

詳細な取扱方法は 8 ページ　9 ページをご一読ください。
この取扱説明書を完全にご理解の上、X-Panda をご使用ください。









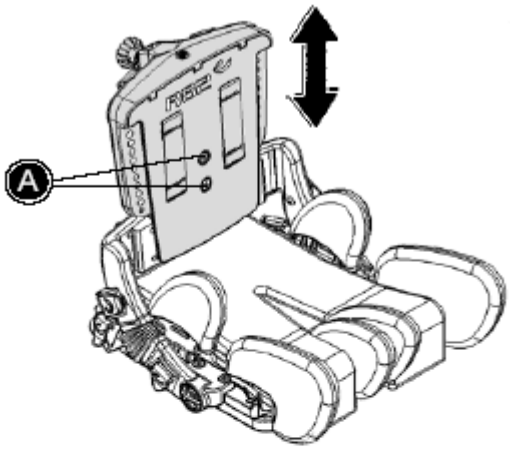
＜背もたれリクライニング＞
調節レバー（A）を上に引き上げリクライニング調節を行ってください。

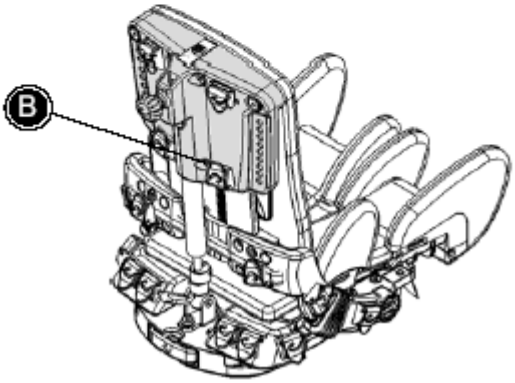
⚠ リクライニングの際は、背もたれが勢いよく倒れないようにシートをしっかり支えながら行ってください。

セキュリティーロック（B）が装備されています。　左に回すとロックされ右に回すと解除されます。

⚠ 調節後は常にロックしてください。

⚠ 背もたれリクライニングを調節する際は、ガスダンパーと背シートの間（C）に指を挟まないよう十分ご注意ください。





＜背もたれ高さ調節＞
調節用ボルト（A）（B）を緩め、ご希望の位置で背もたれの高さ調節を行った後、ボルトを締めなおしてください。

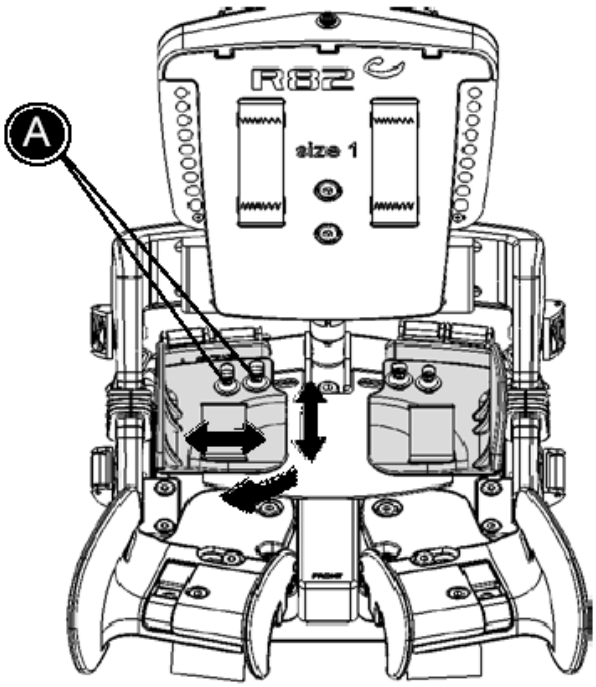
⚠ 調節用ボルトは外さないでください。（調節の際は緩めるのみ）

＜ヒップ・サポート調節＞

角度・奥行き・幅調節

ボルト（A）を緩め、ご希望の位置で固定してください。

⚠調節用ボルトは外さないでください。（調節の際は緩めるのみ）



＜レッグ･サポート調節＞

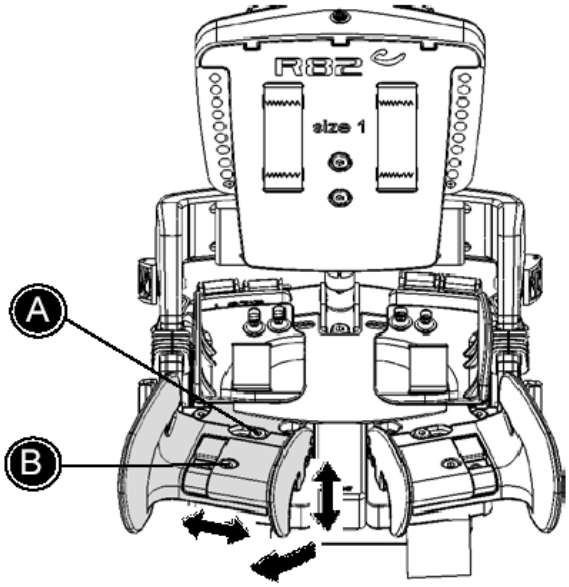
角度・奥行き調節

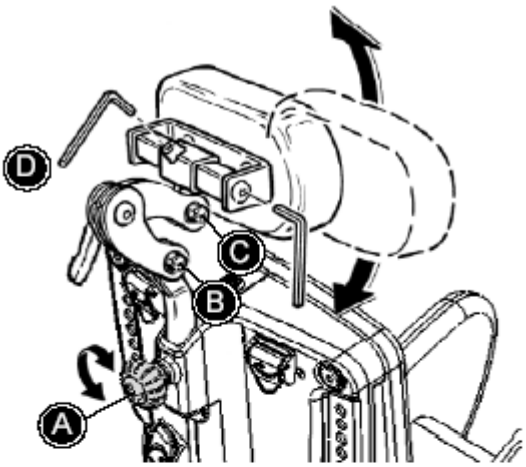
ボルト（A）を緩め、ご希望の位置で固定してください。

幅調節

ボルト（B）を緩め、ご希望の位置で固定してください。

⚠　調節用ボルト（A）は外さないでください。（調節の際は緩めるのみ）





＜ヘッド・サポート＞

取付け・高さ調節

ハンドル（A）を緩めて調節を行ってください。

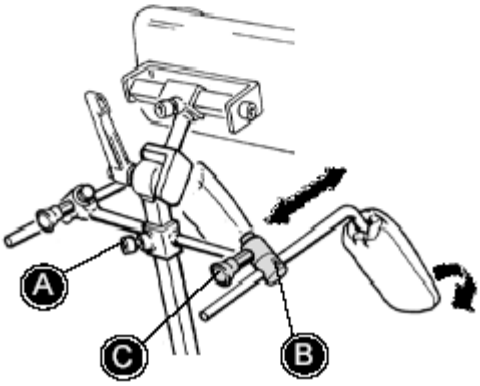
角度調節

調節用ネジ（B）（C）を緩めて調節を行ってください。

スライド（左右）調節

調節用ネジ（D）を緩めて調節を行ってください。

ご希望の位置に調節後、全てのネジを締めなおしてください。



＜ショルダー・サポート＞

ヘッド･サポート金具に取付け、調節用ネジ（A）を緩め、高さ調節を行ってください。

奥行き調節

調節用ネジ（B）を緩め、奥行き調節を行ってください。

開閉機能

ハンドル（C）を引き、開閉を行ってください。

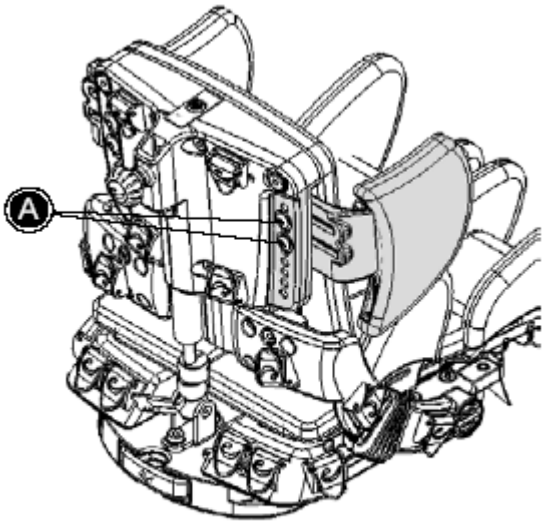
＜サイド･サポート＞

高さ調節

調節用ボルト（A）を外し、ご希望の位置で固定してください。

幅調節

調節用ボルト（A）を緩め、ご希望の位置で固定してください。



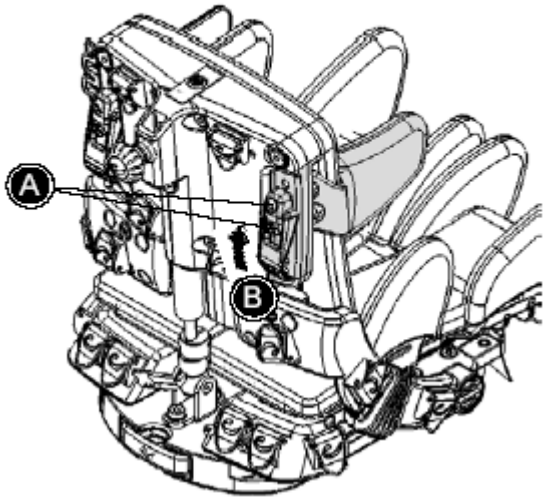
＜サイド･サポート用クイック・ロック＞

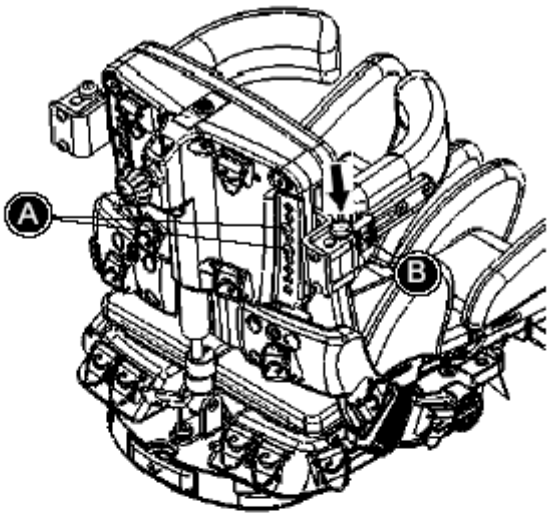
高さ調節

調節用ボルト（A）を外してください。
クイック･ロック付サイド･サポートをご希望の位置にセットしボルトでボルトを取付けてください。

幅調節

固定ハンドル（B）を引き上げてください。
サポートをご希望の位置にセットされましたらハンドルを下に戻してください。





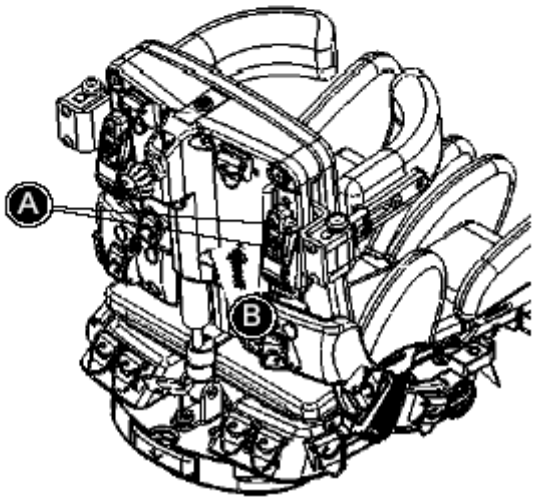
＜開閉式サイド･サポート＞

高さ調節
調節用ボルト（A）を外し、ご希望の位置で固定してください。

幅調節
調節用ボルト（A）を緩め、ご希望の位置で固定してください。

開閉機能
赤いボタン（B）を押し開閉を行ってください。

> ⚠ 介助される方は、スムースな開閉機能を保つ為、時々開閉部分に潤滑油（シリコンスプレー等）をふってください。（目安　3ヶ月毎）



＜開閉式サイド･サポート用クイック・ロック＞
高さ調節
調節用ボルト（A）を外し、ご希望の位置で固定してください。

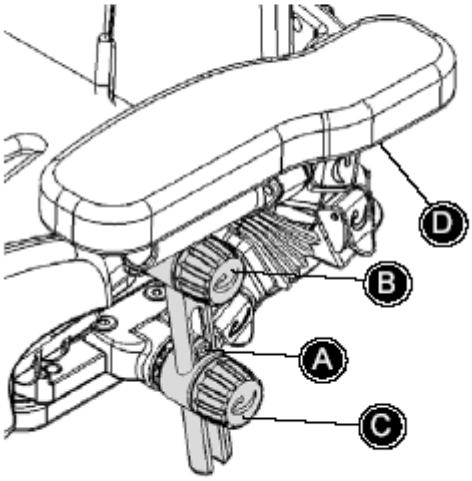
幅調節
固定ハンドル（B）を引き上げてください
サポートをご希望の位置で固定してください。

＜アームレスト＞

高さ調節

調節用ネジ（A）を緩め、ご希望の高さで固定してください。

調節用ハンドル（C）を緩め、アームレストをご希望の位置にセットししっかりハンドルを固定してください。



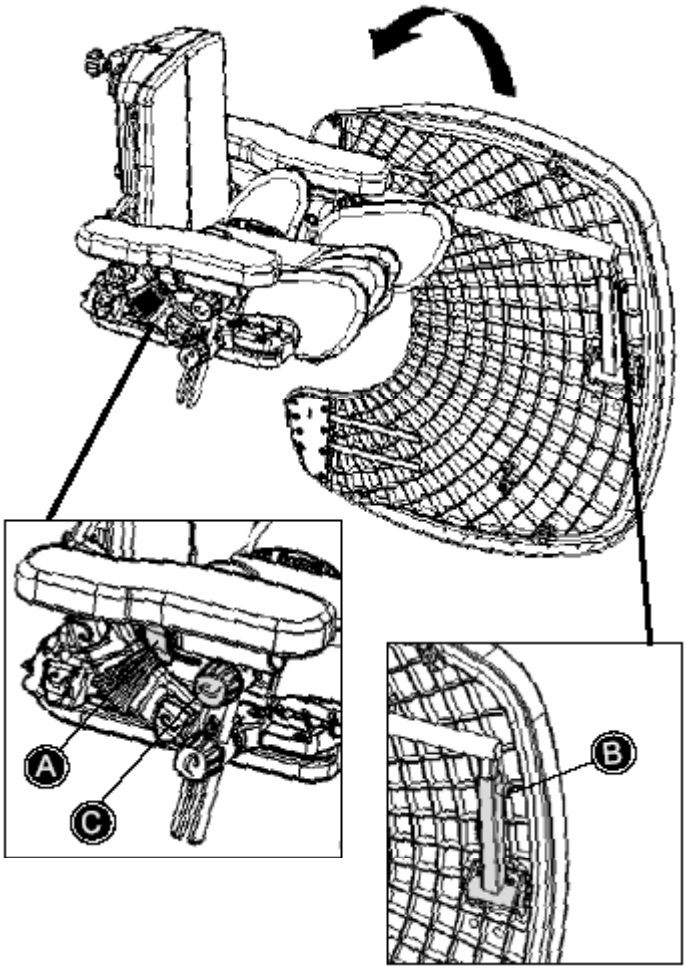
アームレストクッション角度調節

調節用ハンドル（B）を緩め、角度調節を行ってください。

アームレスト・バー角度調節

調節用ハンドル（C）を緩め、角度調節を行ってください。

アームレスト下方部の調節ネジ（D）を緩めると、スライド・角度調節がおこなえます。（水平方向）



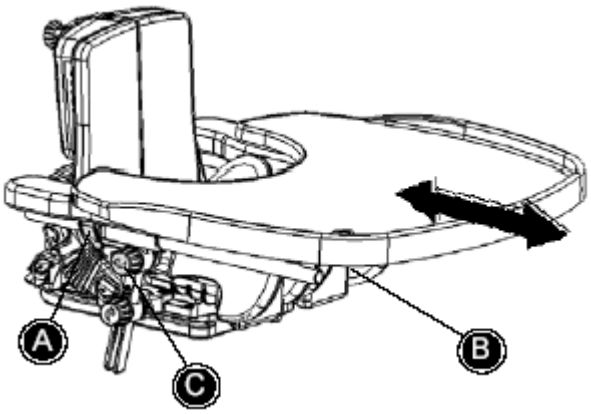
＜テーブル＞

A) テーブルを差込み、ロックしてください。(その際奥行きの調節を行ってください)

B) 調節ボルトを緩め、幅調節を行ってください。

C) アームレストの角度を調節することにより、テーブルの角度もかわります。

⚠テーブルのご使用にはアームレストが必要になりますのでご注意ください。



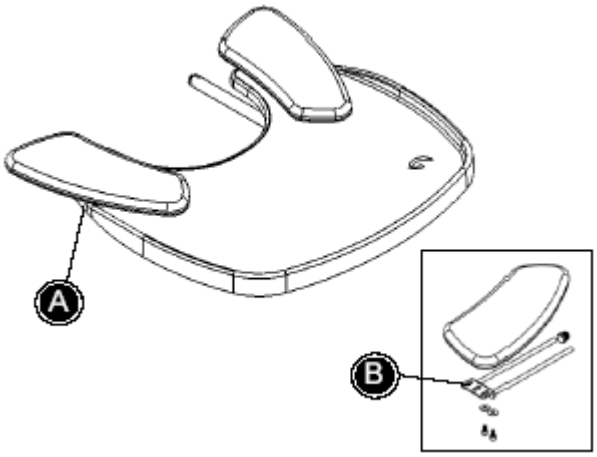
＜テーブル（両挿し）＞

（A） テーブルを差込み、ロックしてください。（その際奥行きの調節を行ってください）

（B） 調節ボルトを緩め、幅調節を行ってください。

（C） アームレストの角度を調節することにより、テーブルの角度もかわります。

⚠ テーブルのご使用にはアームレストが必要になりますのでご注意ください。
（その時、アームレストの高さ・角度は左右同じ位置に設定してください）



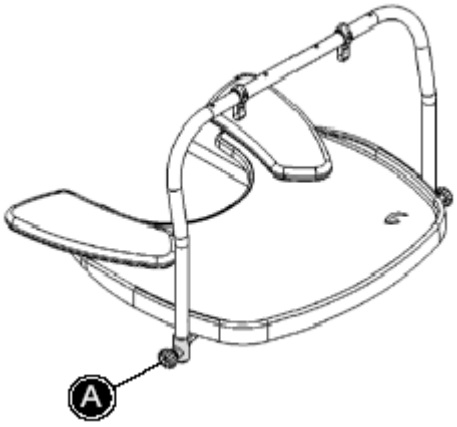
＜テーブル用アームレスト＞

A） 奥行き調節

B） 角度調節

⚠ 本アームレストのご使用にはテーブルが必要になりますのでご注意ください。

＜テーブル用トイバー＞

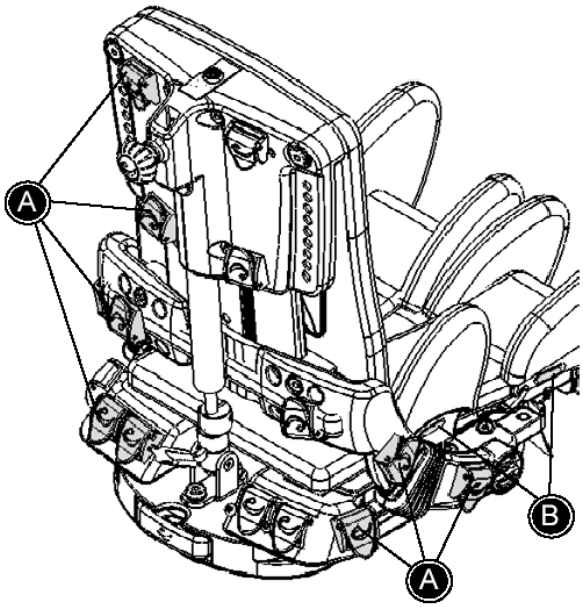


A） 調節用ネジを緩めて角度を調節してください。

⚠ トイバーのご使用にはテーブルが必要になりますのでご注意ください。

＜各種ベルト＞

X-Panda では各種ベルトを取付けることができます。　ベルト取付けの際は、プラスティックロック又はベルト通し穴をご利用ください。



プラスティックロック

プラスティックロック（A）にベルトストラップを通し、長さを調節してください。

ベルト通し穴

ベルト通し穴（B）を利用し、ベルトストラップの長さを調節してください。

＜フィックスロック調節部品（位置調節）＞

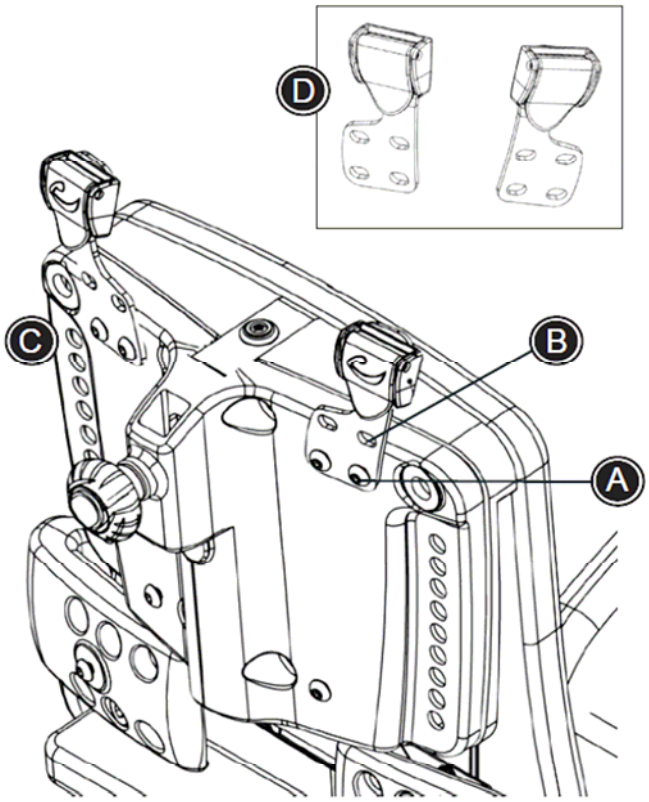
よりお子様の身体状況にあわせた位置にベルトを取付けられる場合にフィックスロック調節部品をご使用下さい。調節部品は背もたれ上部の穴を利用し取付けて下さい。

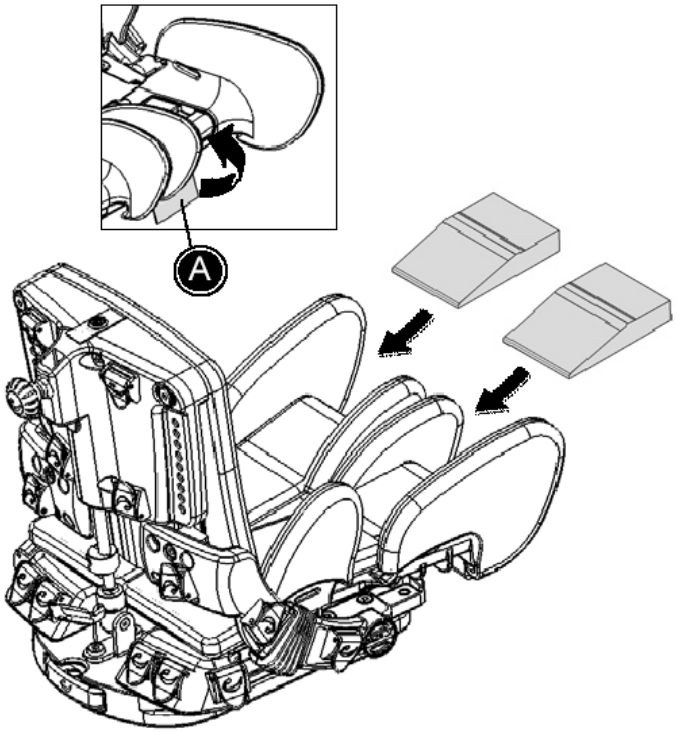
＊ 取付穴（A）（下側）でセッティングするとベルトストラップがより高い位置で設定できます。

＊ 取付穴（B）（上側）でセッティングするとベルトストラップがより低い位置で設定できます。

＊ 図（C）の様に取付けて頂くとベルトストラップがより肩部の外側で設定できます。

＊ 図（D）の様に取付けて頂くとベルトストラップがより肩部の内側で設定できます。



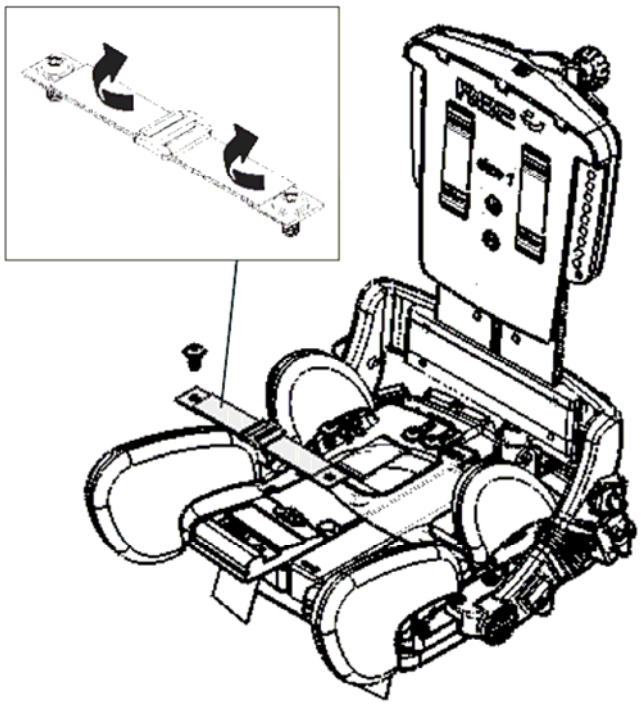


＜シート・ウェッジ＞

奥行き調節

シートクッションを取外し、マジックから三角パットを外してください。

マジック(A)をシート上に引上げ、三角パットをご希望の位置にセットしてください。
最後にシートクッションをかぶせてください。



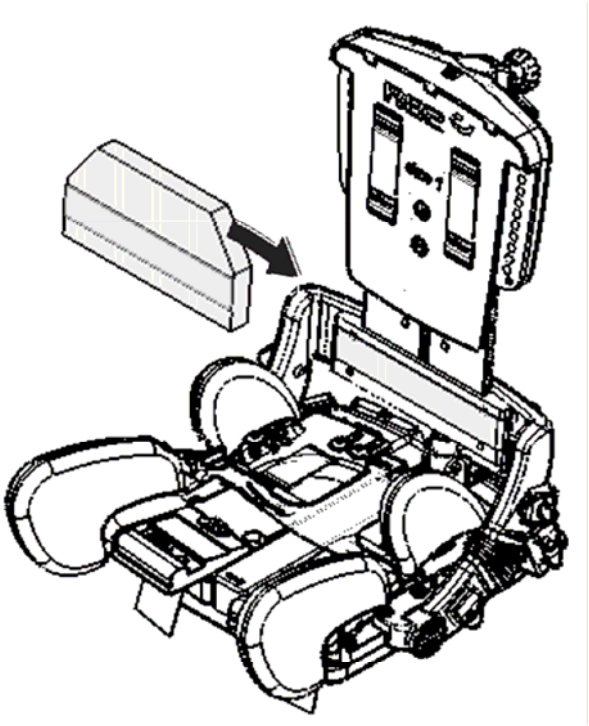
＜シートストラップ＞

お子様の外転位置に合わせ、シートストラップを取付穴に固定してください（調節幅は 3 段階）

調節の仕方：
片側のストラップを開いて長さを調節してください。調節後、ストラップを折り曲げてマジックテープで留めてください。

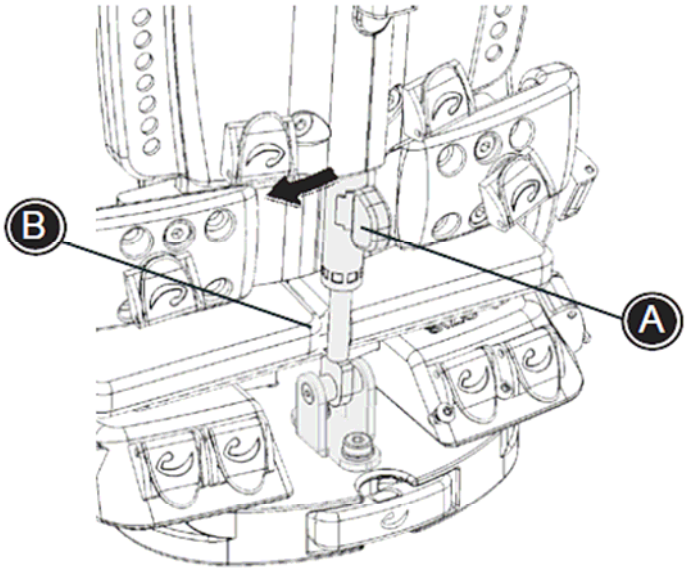
＜背もたれプレート＞
背もたれの高さ調節を行った際、座シートとの間に取付けてください。

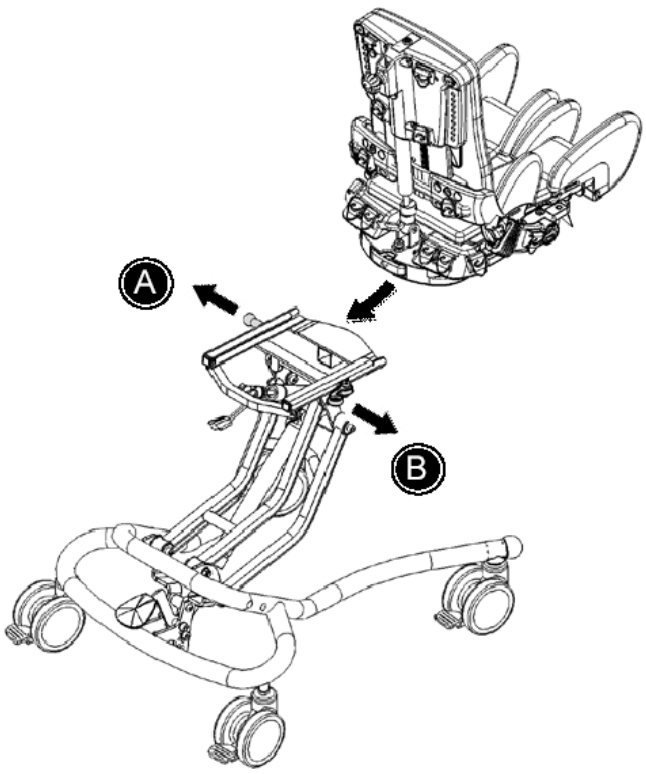
＊必要に応じて、クッションをナイフで切って、調節してください。
＊クッションを背もたれ部分に取付けてください。



＜固定式ガススプリング＞
可動式ガススプリング（標準）は固定式ガススプリングに変更することが可能です。

ハンドル(A)をゆるめて、背もたれの角度を調節して下さい。
背もたれの角度調整時にはガススプリングとシートの間　(B)に指を挟まないようにご注意ください。





＜屋内用フレーム：　シート取付け・取外し＞

シート取付け

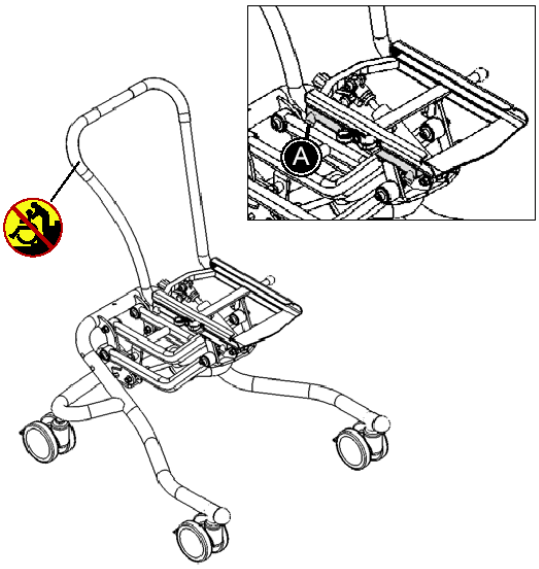
⚠ X-Panda シートを旧 High-Low フレームに取付ける場合、T フレーム（シート受金具）及びフットレスト棒を交換する必要があります。

シートアダプターを T フレーム（シート受金具）に合わせ、“カチッ”と音が鳴るまで後方に押してください。　シートの安定性を保つ為、赤いハンドル（B）でしっかりロックしてください。

⚠ C　シートをフレームに差込んだ際､最初の穴で止まりますがこれはあくまで安全ロックです。さらに 1 段階後方に押してください。（2 つ目の穴でしっかりロックしてください。）

シート取外し

赤いハンドル（B）を解除してください。
ノブ（A）を手前に引き、シートを前方に押出し同時にシートを持ち上げてください。



＜屋内用プッシュ･ブレス＞

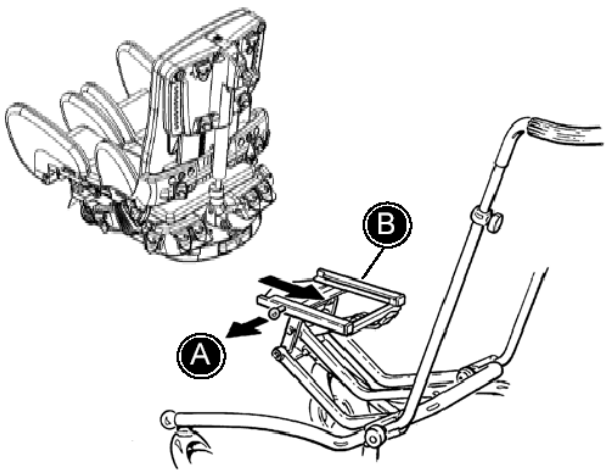
奥行き調節

フレーム両サイドの調節用ネジ（A）を緩め、プッシュ･ブレスの奥行きを調節してください。　プッシュ･ブレスは2段階で調節が行え、ご希望の位置でしっかり固定してください。

⚠ 階段や縁石等でプッシュ･ブレスを持ち上げないでください。その際は介助者２人で抱え上げ、決してプッシュ･ブレスを使って上げないでください。

＜屋外用フレーム：　シート取付け・取外し＞

シート取付け



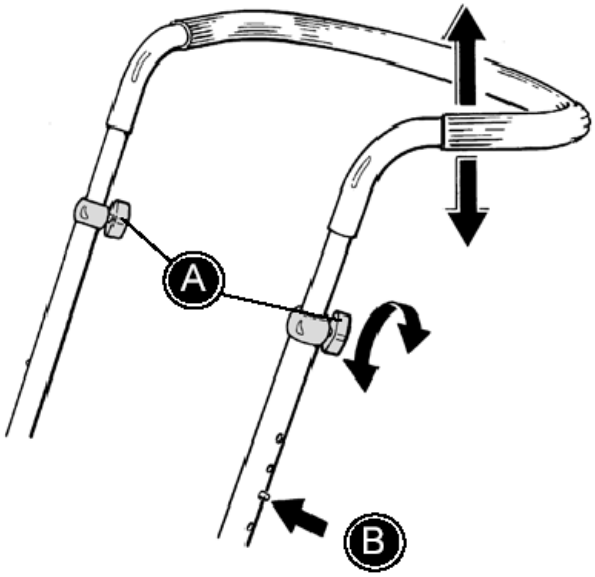
⚠ X-Panda シートを旧 High-Low フレームに取付ける場合、T フレーム（シート受金具）及びフットレスト棒を交換する必要があります。

シートアダプターを T フレーム（シート受金具）に合わせ、“カチッ”と音が鳴るまで後方に押してください。
シートの安定性を保つ為、赤いハンドル（B）でしっかりロックしてください。

⚠ シートをフレームに差込んだ際、最初の穴で止まりますがこれはあくまで安全ロックです。　さらに 1 段階後方に押してください。(2 つ目の穴でしっかりロックしてください。)

シート取外し

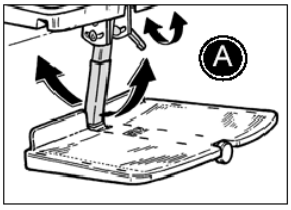
赤いハンドル（B）を解除してください。
ノブ（A）を手前に引き、シートを前方に押出し同時にシートを持ち上げてください。

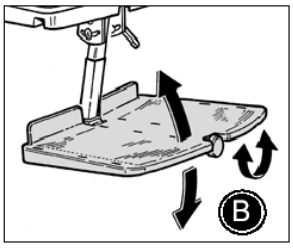


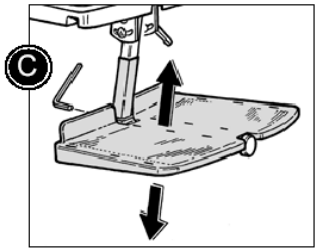
＜屋外用プッシュ･ブレス＞

高さ調節

調節用ハンドル (A) を緩め、ロックピン (B) を押して高さ調節を行ってください。







＜プレート式フットレスト調節＞

膝関節角度調節

調節用ハンドル（A）を緩め、角度調節を行ってください。

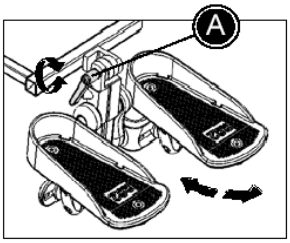
足関節角度調節

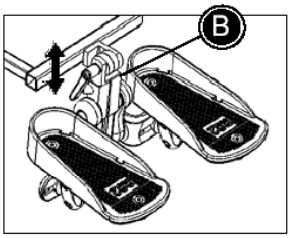
調節用ボルト（B）を左に回し緩め、ご希望の位置で右に回して固定してください。

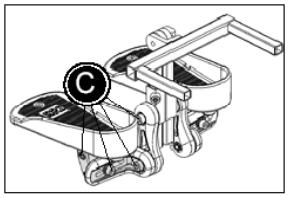
高さ調節

６ｍｍレンチで調節用ボルト（C）を緩め、ご希望の位置で固定してください。

⚠フットレストを踏み台としてご使用にならないでください。







＜サンダル式フットレスト調節＞

膝関節角度調節

調節用ハンドル（A）を緩め、角度調節を行ってください。

高さ調節

６ｍｍレンチで調節用ネジ（B）を緩め、ご希望の位置で固定してください。

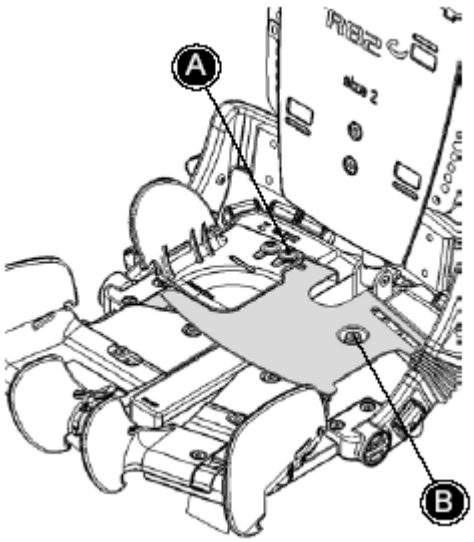
足関節角度・幅・奥行き調節

調節用ネジ（C）を緩め、各部調節を行ってください。（フットプレートの高さ調節も行う事ができます）

⚠フットレストを踏み台としてご使用にならないでください。

＜シート拡張機構―　座幅調節＞
下記の手順に従ってスムースな座幅調節を行ってください。
（座奥調節は次のページをお読みください）

両サイドのヒップ･サポート（A）を取外してください。
金属プレート（B）を取外してください。



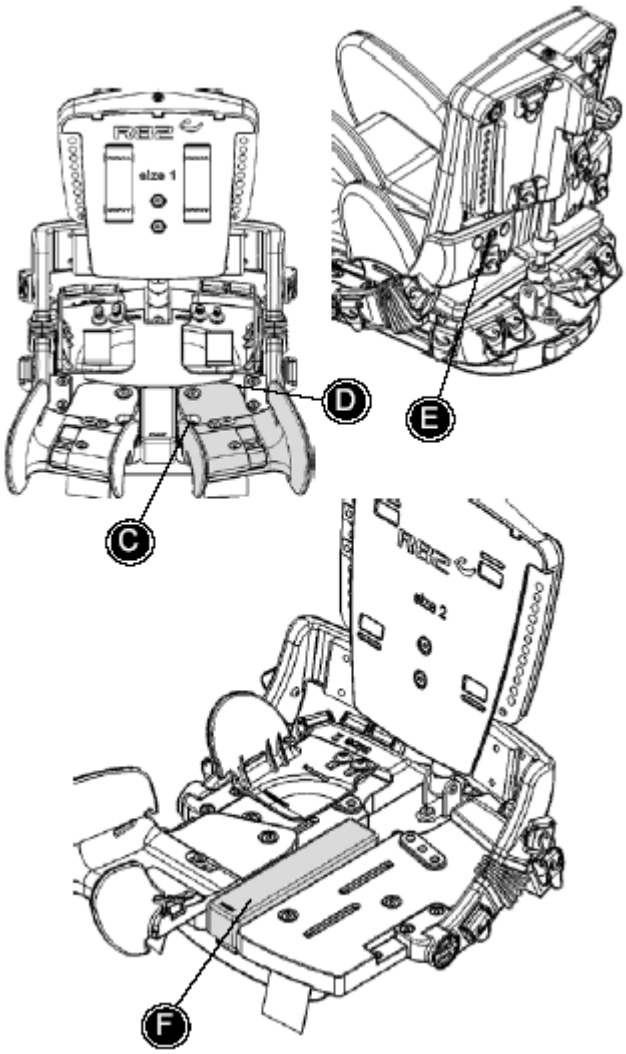
シート（左側）
ボルト（C）を取外してください。
ボルト（D）を取外してください。（サイズ２　＋３のみ）
ボルト（E）２本を取外してください。

ご希望の幅でセットし、ボルト（C）（D）（E）を戻してください。　ボルトは完全に固定しないでください。

シート（右側）
左側同様、ボルト（C）(D)(E)を取外してください。

スペーサー（F）をセットしてください。

左側と同じ幅でセットし、ボルト（C）(D)(E)を取付けてください。

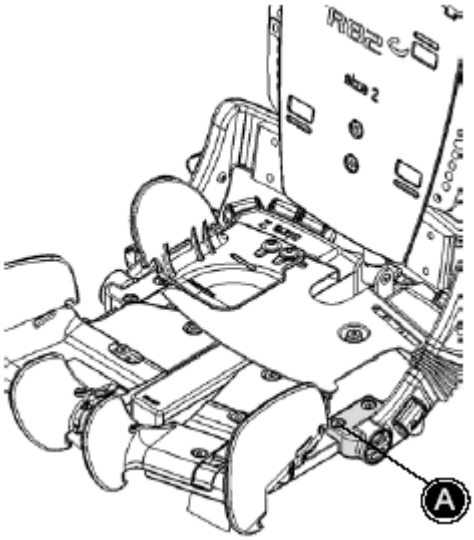


シート（両側）
ボルト（C）(D)(E)を左右両側共しっかり固定してください。

⚠　混ざらないように取外したボルト類はヒップ･サポート等各部品と一緒に保管してください

⚠上記で示されている以外のボルトは緩めたり取外したりしないでください

⚠１ヶ月に一度はボルトがしっかり固定されているかご確認ください

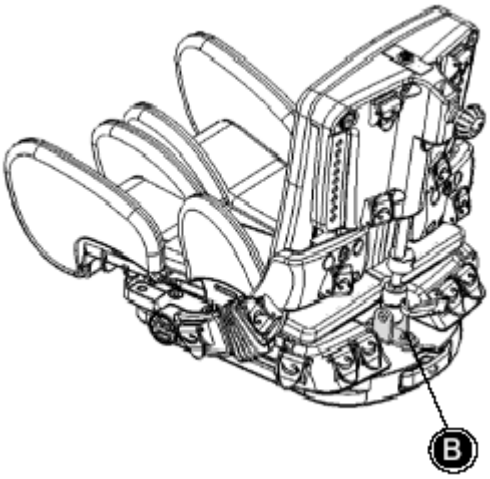


＜シート拡張機構―　座奥調節＞
下記の手順にてスムースな座奥調節を行ってください。
（座幅調節は前のページをお読みください）

シート両側の２つのボルト（A）を取外してください。

背もたれは動かないようにしてください。

ボルト（B）２本を外してください。



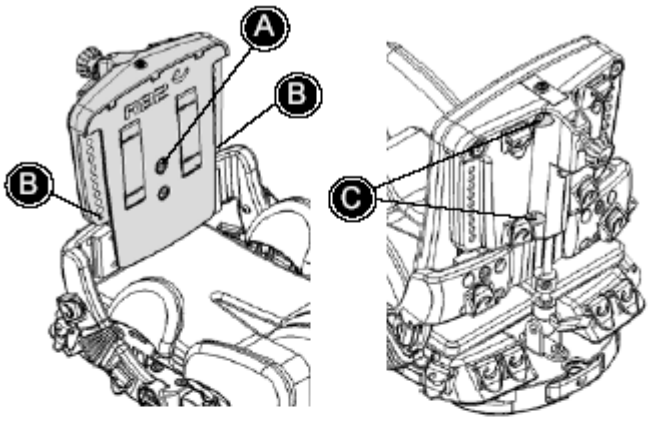
ご希望の位置にセットし、ボルト（A）(B)でしっかり固定してください。

上記で示されている以外のボルトは緩めたり取外したりしないでください。

混ざらないように取外したボルト類はヒップ･サポート等各部品と一緒に保管してください。

１ヶ月に一度はボルトがしっかり固定されているかご確認ください。

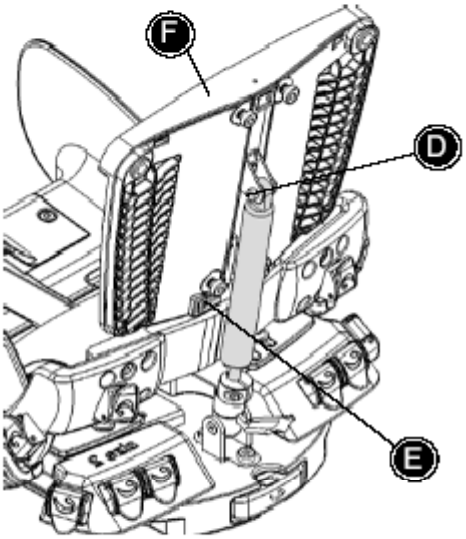
＜シート拡張機構―　背もたれ交換＞
ボルト(A)を２本緩めてください。



クロスポイントネジ（B）２本を外してください。

ボルト（C）を４本外してください。
カバープレートを取外してください。

ピン（D）を押出してください。
背もたれからガスダンパーの先端を外してください。



背もたれストップ装置（E）を取外してください。
背もたれプレート（F）を引上げ、取外してください。

ご希望の位置に背もたれキットをセットし、下に押し下げてください。

背もたれストップ装置（E）を取付けてください。

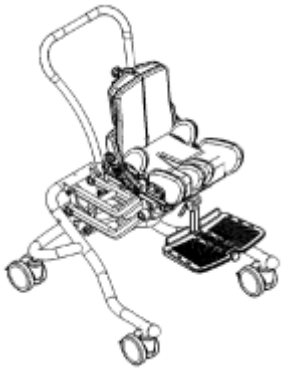
ガスダンパーとピン（D）をセットしてください。

カバープレートを取付けてください。
ボルト（C）を４本で締めてください。

クロスポイントネジ（B）２本で締めてください。

ボルト（A）２本を占めてください

最後に背もたれが上下にスムースに動くか確認してください。

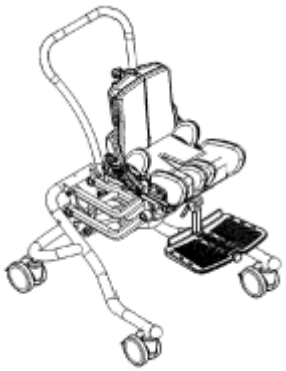


＜シート・X-Panda 用 High-Low フレーム互換チャート＞
X-Panda のシート幅は３段階で調節することができます。
シート幅に応じフレームサイズが異なります。　下記のチャートを参照の上、ご使用になるシートに正しいフレームサイズをお選びください。

● 推奨

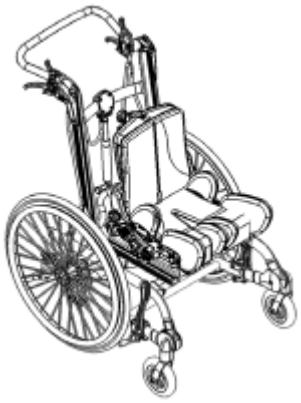
	X-Panda 屋内用 High-Low サイズ１		X-Panda 屋内用 High-Low サイズ２			X-Panda 屋外用 High-Low サイズ１		X-Panda 屋外用 High-Low サイズ２		
	ガス	電動	ガス	電動	油圧	ガス	電動	ガス	電動	油圧
X-Panda ｻｲｽﾞ１S	●	●				●	●			
X-Panda ｻｲｽﾞ１M	●	●				●	●			
X-Panda ｻｲｽﾞ１L	●	●				●	●			
X-Panda ｻｲｽﾞ２S	●	●				●	●			
X-Panda ｻｲｽﾞ２M	●	●				●	●			
X-Panda ｻｲｽﾞ２L	●	●				●	●			
X-Panda ｻｲｽﾞ３S			●	●	●			●	●	●
X-Panda ｻｲｽﾞ３M			●	●	●			●	●	●
X-Panda ｻｲｽﾞ３L			●	●	●			●	●	●

＜シート・Panda Futura 用 High-Low フレーム互換チャート＞
X-Panda のシート幅は３段階で調節することができます。
シート幅に応じフレームサイズが異なります。　下記のチャートを参照の上、ご使用になるシートに正しいフレームサイズをお選びください。



● 推奨

	Panda Futura 屋内用 High-Low サイズ１		Panda Futura 屋外用 High-Low サイズ１	
	ガス	電動	ガス	電動
X-Panda ｻｲｽﾞ １S	●	●	●	●
X-Panda ｻｲｽﾞ １M	●	●	●	●
X-Panda ｻｲｽﾞ １L	●	●	●	●
X-Panda ｻｲｽﾞ ２S	●	●	●	●
X-Panda ｻｲｽﾞ ２M	●	●	●	●
X-Panda ｻｲｽﾞ ２L	●	●	●	●



＜シート・Combi フレーム互換チャート＞
X-Panda のシート幅は３段階で調節することができます。
シート幅に応じフレームサイズが異なります。　下記のチャートを参照の上、ご使用になるシートに正しいフレームサイズをお選びください。

● 推奨
○ 利用可

	Combi フレーム サイズ１			Combi フレーム サイズ２			Combi フレーム サイズ３			Combi フレーム サイズ４		
	20”	22”	24”	20”	22”	24”	20”	22”	24”	20”	22”	24”
X-Panda ｻｲｽﾞ１S	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
X-Panda ｻｲｽﾞ１M	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
X-Panda ｻｲｽﾞ１L	●			●	●	●	○	○	○	○	○	○
X-Panda ｻｲｽﾞ２S	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○
X-Panda ｻｲｽﾞ２M	●			●	●	●	●	●	●	○	○	○
X-Panda ｻｲｽﾞ２L				●	●	●	●	●	●	○	○	○
X-Panda ｻｲｽﾞ３S				●	●	●	●	●	●	●	●	●
X-Panda ｻｲｽﾞ３M							●	●	●	●	●	●
X-Panda ｻｲｽﾞ３L							●			●	●	●

＜シート・バギーフレーム互換チャート＞
シート幅に応じフレームサイズが異なります。　下記のチャートを参照の上、ご使用になるシートに正しいフレームサイズをお選びください。

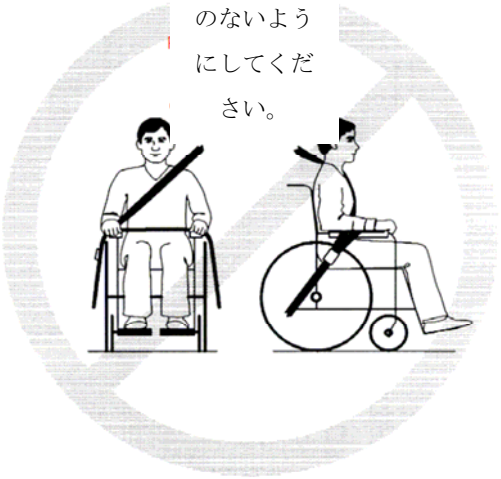
● 推奨

	バギーフレーム　サイズ１	バギーフレーム　サイズ２
X-Panda ｻｲｽﾞ １Ｓ	●	●
X-Panda ｻｲｽﾞ １Ｍ	●	●
X-Panda ｻｲｽﾞ １Ｌ		●
X-Panda ｻｲｽﾞ ２Ｓ	●	●
X-Panda ｻｲｽﾞ ２Ｍ		●
X-Panda ｻｲｽﾞ ２Ｌ		
X-Panda ｻｲｽﾞ ３Ｓ		
X-Panda ｻｲｽﾞ ３Ｍ		
X-Panda ｻｲｽﾞ ３Ｌ		

＜お車での移動（その 1）＞
X:Panda は、Combi フレーム及びバギーフレームをご使用のお子様に限りシートに乗った状態のままお車で移動することが認められています。その際は、前方に向いた状態でセットしてください。
認められているサイズは、1、2、３になります。各サイズの説明は24ページから25を参照下さい。

安全に御使用頂くため、この章の注意書きはすべてお守り頂きますようお願い致します。

アームレストや車輪のような車椅子部品でシートベルトが体からはなれることのないようにしてください。



この車いすは ISO 7176/19-2001 に許可されています。

Combi フレームをお車でご使用になる場合、最大 50kg に制限されています。（お子様・付属品・他荷物含む）

バギーフレームをお車でご使用になる場合、最大 35kg に制限されています。（お子様・付属品・荷物含む）

改造されましたシート・フレームにつきまして、お車でのご使用は認められておりません。

できるだけ、カーシート又は備付のシートベルトをご使用頂くことをお勧め致します。

車の中でシートとして使用する場合、車いすシートとフレームは、前向きになるように取付けてください。ISO10542-2 で認可された 4 点式ストラップタイプ固定システムをお使いください。

ISO10542-1 で認可された 3 点式ベルトを車椅子にご使用ください。アームレストや車輪といった車椅子部品から体がはなれることのないようにしてください。また ISO10542 で認められていないベルトのみのご使用は避けてください。

フレームを固定する前に前輪がフレームと同じ向きになるよう、前輪の向きを合わせて下さい。

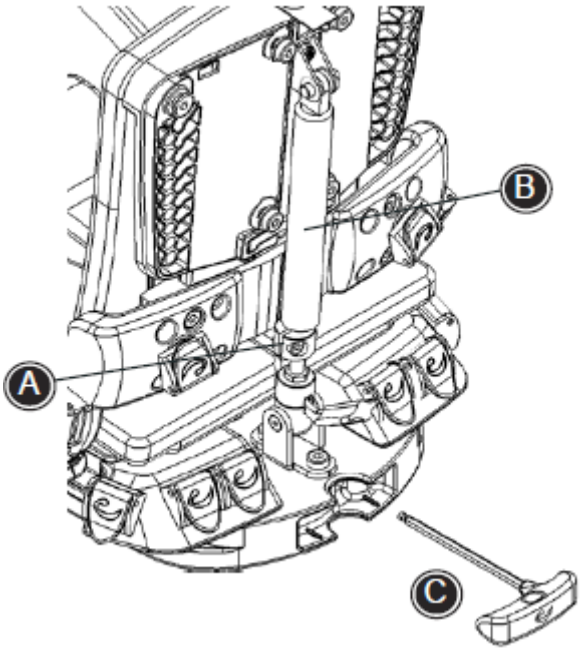
アクセサリーはすべて車椅子からはずして車中で動かないようにしてください。車椅子から外せない、お子様に必要なアクセサリーは、アクセサリーとユーザー様の間に緩衝材をはさんで、お子様に当たらないようにした上で、車椅子にしっかりと固定して下さい。

自動車衝突事故にあった後に車椅子を使用する前には、販売店による製品点検を行ってください。

シートとフレームの準備についての次の手順はご使用前に行ってください。

＜お車での移動（その 2）＞

ガススプリング(B) に取付いております構成部品(A)を図の位置で固定して下さい。その際は、本製品に付属しております六角レンチ(C)をご使用ください。



⚠ 構成部品 (A) は自動車内でご使用前にしっかり固定してください。

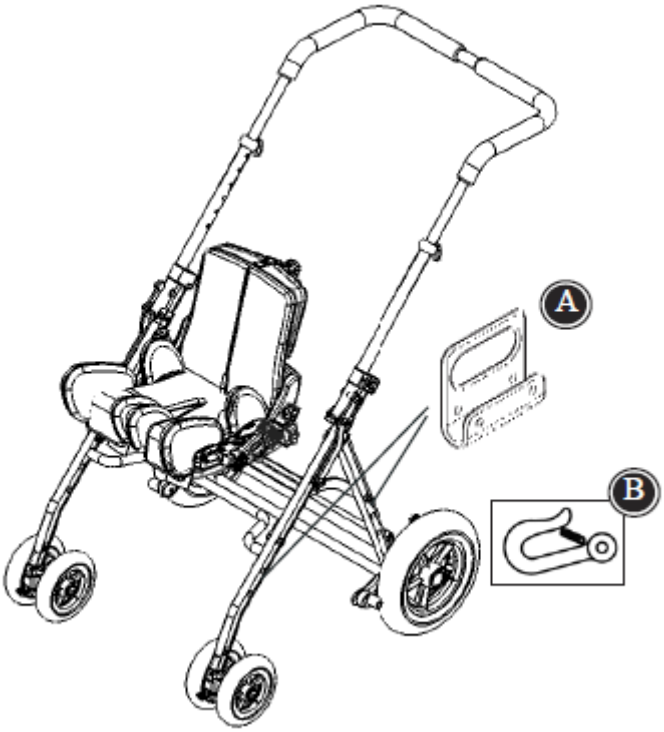
＜お車での移動（その 3）＞

自動車の中ではバギーフレームの上に X Panda シートを固定してください。

*自動車の中では 4 点式ストラップタイプ固定システムを取り付けてください

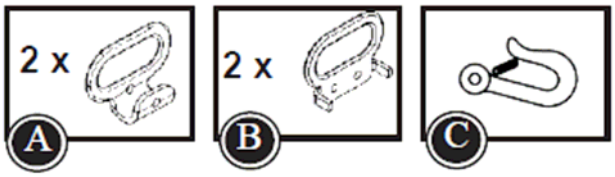
*フレームの両脇に図(B)の様に固定部品(A)2 個を留めてください。

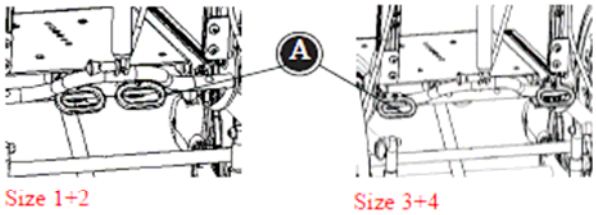
*4 点式ストラップタイプ固定システムを使って、シートを自動車に固定してください。固定部品(A)にフックかストラップのどちらかを使用してください。

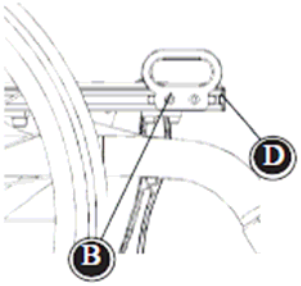


⚠ ISO 10542-2 又は or SAE J2249 に認可されている 4 点ストラップタイプ固定システムをご使用ください。

お子様をシートに乗せる方法については 38ページをご覧ください。







＜お車での移動（その 4）＞

自動車に Combi Frame を乗せるには

1. 4 点式ストラップシステムを使ってフレームを自動車に固定させます。（自動車メーカーからの手順書に従ってください。）

⚠ ISO 10542-2 又は SAEJ2249 に認可された 4 点式ストラップシステムを必ずご使用ください。

フレームの後ろ側には、車載用金具(A)を取付けてください。

2. ＊プラグを抜いてください。

＊背面のバーに車載用金具(A)を取付けてください。

＊付属の6mmのボルトとナットで締めてください。（フレームサイズにより取付位置が異なります。）

3. ＊サイドレールのプラグ(D)を抜いてください。

＊サイドレールに固定部品を入れてください。

＊プラグ(D)を再度取付けてください。

＊固定部品に車載用金具（B)を合わせてください。

*付属の 6mm レンチでボルトとワッシャーで締めてください。固定具(B)の「角の部分」がサイドレールの穴の中に入っていることを確認して下さい。車載用金具(B)は（図のように）希望にあわせて、上向きにも、下向きにもつけることができます。

4. 車椅子は自動車の中では 4 点式ストラップシステムを使って固定してください。フックかストラップのどちらかを使って、車載用金具(A)と(B)を締めてください。

同梱のステッカー(C)を車載用金具(A)と(B)4 ヶ所に貼ってください。.

＜お車での移動（その 5）＞

お子様を車椅子にしっかりと座らせてください。

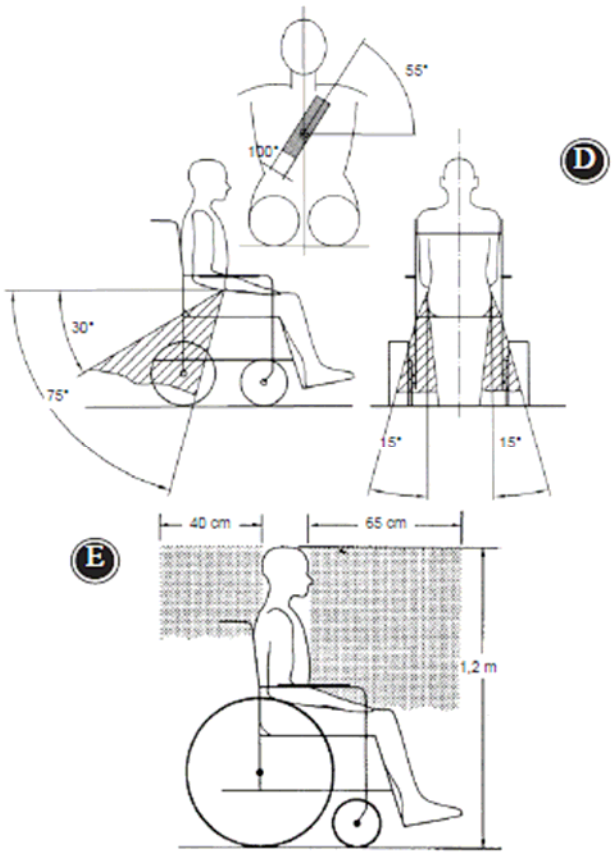
＊　図(C)のように 3 点式ベルトをご使用ください。
＊　3 点式ベルトの角度と位置は図(D)を参照ください。
＊　お子様が不快に感じない程度まで、ベルトはできるだけしっかりと締めてください。また使用中ベルトはねじれないようにしてください
＊シートと背もたれの角度を 90 度に保ち、シート全体を後方に 18 度傾けることをおすすめします。

アームレストや車輪のような車椅子部品でシートベルトが体からはなれることのないようにしてください

骨盤の部分のベルトは大腿部と骨盤の交差する付近に沿わしてしっかり締めてください。

⚠ ISO 10542-1 に認可された 3 点ベルトをご使用ください。

⚠ 自動車の中でお子様を動かす際は、推奨する安全地帯（E）の範囲内にしてください。



＜製品識別＞

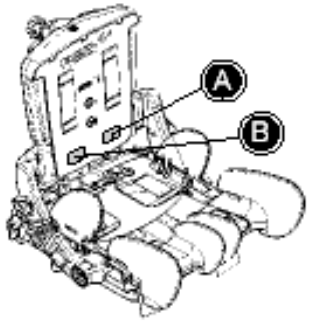
X-Panda シート

A)　シリアルナンバー

背もたれシェル右側に記載されています。

B)　製造者

背もたれシェル左側に記載されています。



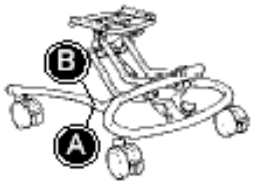
＜屋内用 High-Low フレーム　屋外用 High-Low フレーム＞

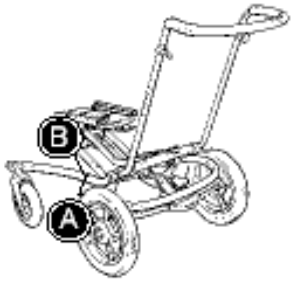
A)　シリアルナンバー

フレームの左側にラベルが貼られています。

B)　製造者

フレームの左側にラベルが貼られています。





Combi フレーム

A)　シリアルナンバー

シート裏の前部クロスバー左側にラベルが貼られています。

B)　製造者

シート裏の前部クロスバー左側にラベルが貼られています。

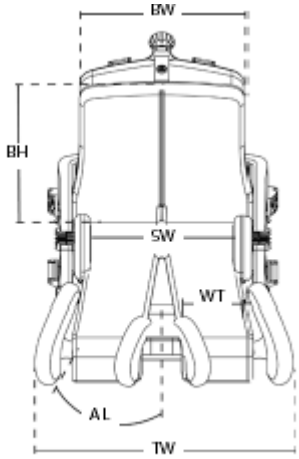
バギーフレーム

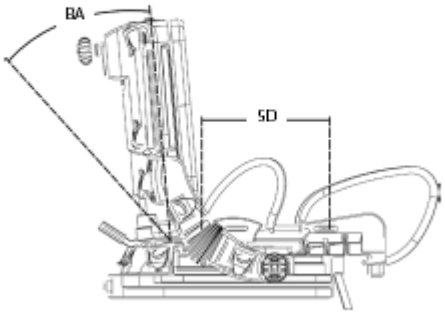
A)　シリアルナンバー

シート下のクロスバーにラベルが貼られています。

B)　製造者

左後輪付近のクロスバーにラベルが貼られています。





＜寸法表＞

	X-Panda サイズ１ ｃｍ	X-Panda サイズ２ ｃｍ	X-Panda サイズ３ ｃｍ
座面奥行き（SD）	16-26	20-30cm	26-39cm
座面幅　　（SW）	16,20,24	20,24,28	26,31,36
背もたれ高さ（BH）	27-37	32-42	35-50
背もたれ幅　（BW）	26	32	36
背もたれ角度（BA）	-5°　+30°	-5°　+30°	-5°　+30°
大腿部幅　　（WT）	7,9,11	10,12,14	12,14 1/2, 17
外転角度（片側）（AL）	0°　-15°	0°　-15°	0°　-15°
サイズ１最小設定	0°　-8°		
大腿部幅（外転最大）	28,32,36	34,38,42	44,49,54
重量	6,5kg	8,5kg	13kg
耐加重（お子様体重）	45kg	50kg	60kg
（フレームを取付けた状態）			
耐加重（お子様体重）			
High-Low フレーム	45kg	50kg	50kg
Combi フレーム	45kg	50kg	60kg
バギーフレーム　サイズ１	35kg	35kg	
バギーフレーム　サイズ２	45kg	50kg	

<テクニカルデーター>

シート：　PA 6
クッション：　耐炎性素材
カバー：　ゲンマ素材
フレーム：　アルミ製

製造者
R82A/S
Parallelvej 3
8751 Gedved
Denmark

販売店

＜メンテナンス＞

X-Panda のカバーは取外し、40 度のお湯で洗うことができます。　また有効にご使用頂く為にフレームは清潔に保ってください。

⚠ 製品に含まれます開閉部品につきましては、定期的に潤滑油をふりスムースに機能するか確認してください。（目安：６ヶ月毎）

⚠ フレームの車輪の汚れを拭き取るには乾いた布をご使用ください。　その際、塩素又はメチルアルコールを含んだ洗剤は使わないでください。

⚠ 故障がないかどうかお買い上げ頂きました販売店に製品チェックを受けてください。（目安：6 ヶ月毎）

⚠ ガスダンパーを高温・気圧の高い場所に保管しないでください。　又穴を開けたりしないでください。

⚠ 本取扱説明書に記載されていない調整やアクセサリーの追加は認定業者によってなされなければなりません。　各種ベルトは製品に添付されております説明書に従って取付けてください。

⚠ 月に 1 度はタイヤの空気圧をチェックし補充してください。

屋外用 High-Low フレーム	前輪：35 PSI/250 kPa，後輪：40PSI/2,5 bar
車椅子フレーム	前輪：110PSI/250kPa
バギーフレーム	前輪：36PSI/2,5bar，後輪：36PSI/2,5bar